

2024年度 JKA補助事業(更生保護施設の建築)について、2回目の自己評価を行ってください。

・提出期限：2026年1月30日(金)

・提出先：p2024hyoka@keirin-autorace.or.jp

《2024年度JKA補助事業 自己評価書(2回目) 記入のしかた・記入例について》

* **青字部分**は記入例です。記入の際、参考になしてください。

* **水色箇所**は記入箇所、**ピンク色の項目**は選択肢の中からひとつを選択していただく項目、**緑色の項目**は複数選択可の選択項目となります。

* 以下の【記入にあたっての注意点】もご一読のうえ、ご記入ください。

2024年度自己評価書(2回目) 様式・記入例 ↓

【記入にあたっての注意点】

整理番号	2024P-	073	補助事業者名	更生保護法人 ○○○会	補助事業名	更生保護施設の建築
------	--------	-----	--------	-------------	-------	-----------

2024年度 JKA補助事業 自己評価書(2回目)

作成年月日 2025 年 1 月 25 日 作成者 競輪 太郎

1. JKA補助 建築について(2024年度補助事業で整備された更生保護施設についてご記入ください。)

施設の種類	更生保護施設		
建築施設名	○○○苑	構造	鉄筋コンクリート造2階建て
建築施設の所在地	東京都港区港南一丁目2番70号	延べ面積	783.08 m ²
建築した施設の形態	☐ 法人にとって初の更生保護施設 ☒ 既存更生保護施設老朽化のため建て替え ☐ その他		
※その他を選択した場合、詳細をご記入ください ⇒			
建築した施設の特長	被保護者が善良な一員として再出発するためにふさわしく、明るく清潔感があり、個人を尊重した居住環境になった。近隣住民との調和を十分に意識し、住民のニーズを取り入れ、地域社会の公益に配慮した「地域交流室」を設置した。再犯防止の一環として、当苑を退所した者への居場所づくりとして「フォローアップ室」を併設した。		

◆整理番号、補助事業者名(法人名)を記入してください。

◆作成日、作成者を記入してください。

◆今回建築した更生保護施設の施設名を記入してください。また、その施設の所在地(住所)も記入してください。

◆「構造」欄には、今回建築した更生保護施設の建物の構造(例:鉄筋コンクリート造2階建て 等)を記入してください。「延べ面積」欄には、今回建築した更生保護施設の延べ面積(m²)を記入してください。(※小数点以下2桁まで。それ以降は四捨五入されます。)

◆あてはまるものをひとつ選択してください。

◆「その他」を選択した場合は、その詳細を記入してください。

◆今回建築した更生保護施設の特長(特に優れている点やアピールポイントなど)を記入してください。

利用開始日	2025 年 4 月 1 日							
運用月	宿泊供与人数				食事給与人数			
	延べ人数		実人員		延べ人数		実人員	
	委託保護 保護等	任意保護 更生緊急保護	委託保護 任意保護	任意保護	委託保護 保護等	任意保護 更生緊急保護	委託保護 任意保護	任意保護
1 2025年 3月								
2 2025年 4月		2		2		21		2
3 2025年 5月	2	2		3	31	46		3
4 2025年 6月	2	3		5	51	56		5
5 2025年 7月	3	2		5	59	31		5
6 2025年 8月	4	2		5	61	45		5
7 2025年 9月	5	3		8	71	66		8
8 2025年 10月	1	3		4	11	75		4
9 2025年 11月	3	6		8	59	89		8
10 2025年 12月	9	6		14	177	113		14
月平均	3.6	3.2		6.0	65.0	60.2		6.0

★定員数について教えてください。

定員	男性	20	名
	女性		名
合計		20	名

★入所者の年齢区分について教えてください。(複数選択可)

<年齢区分>

☐ 10代

☐ 20代

☒ 30代

☒ 40代

☒ 50代

☒ 60代以上

◆保護した入所者の状況について、記入してください。

★施設で行っている専門的な処遇について、ご記入ください。

処遇	具体的内容
☐ 読書・算数教育	
☐ SST	
☐ 心理援助プログラム	
☐ 就労促進プログラム	
☒ その他	フォローアップ事業(更生緊急保護の法定期間を経過した者に対する生活相談支援)

★地域との交流等がございましたら、その具体的内容をご記入ください。

- ・自治会が自主的に行っている集団回収が毎月実施されているため、分別作業に入所者も参加している。
- ・恒例参加としている運動会、秋祭り、グラウンドゴルフについても、入所者に積極的に参加するよう声掛けを行った。

2. 以下の評価項目について、ご記入ください。

a. 個別の評価項目について、交付管轄番付の『事前計画／自己評価書(3/5) 4. 補助事業の事前計画』の、達成状況等を把握し、ご記入ください。
○採点基準については、2024年度補助事業実施に関する事務手続要領『別冊評価要領』自己評価スコアリングガイドをご参照ください。

(1) 受益者 (ニーズ)	新施設は、1期には高齢化社会を意識し、高齢者・障がい者用のバリアフリー化の居室を設けたほか、広く地域住民に利用いただける地域交流室と施設退所後の居場所づくりとしフォロースペースも併設した。2期には、16の個室と2人用の和室がなかりあり、天井からの採光で明るく開放感のある施設コーナーも設置した。全室に冷暖房、テレビや冷暖房が設置されるなど入所者の居住環境が大きく向上し、高齢者や障がい者等の自立困難な入所者を始めとする、特性に配慮した処遇の充実が期待できる。	採点	4
(2) 事業内容 事業の 新規性 または 継続の 必要性	安全・安心な地域社会の実現のために最も重要視されているのが再犯防止である。また、犯罪や非行をした人の改善更生への支援等に当たっての力となるのは、出所後の「仕事」であり、社会での「居場所」づくりが重要である。当施設は、再犯リスクの高い短期収容者等を積極的に受け入れ、こうした人たちが施設を退所後、地域で居場所を得て、生活基盤を築き、安定した生活を営めるよう、地域社会との共生をさらに深めながら、充実した処遇の実現を図る。	採点	4
事業の 発展性	特に犯罪障がい者が地域で生活でき、近所の方とのふれあいをもつことで地域住民の認識も高まり、少しずつではあるが障がい者に対する理解が進んできたと思われる。	採点	4
(3) 達成 目標	事業の 成果・波及	【達成値】 【達成状況】 【具体的内容】	採点
※自己評価(1期)より 改善された点 記入ください。	年間70名受入平均収容人員85%以上、地域交流室の年間利用者300名	年間受入35名、退所者18名、次年度継続17名、収容率50%であった。地域交流室年間利用者は地域住民164名、更生保護関係者135名、保護司会13名で、年間希望使用率の104%であった。	3

b. 交付管轄番付の『事前計画／自己評価書(2/5) 3. 補助事業実施の必要性(1)補助事業が最終的に目指すこと』の、達成状況を ご記入ください。

薬物事犯者は、他の罪名に比べて刑務所に再入所する者の割合が高く、その改善更生のためには、医療・福祉機関等と連携して、より長い処遇が必要であり、地域に根ざした刑務所出所者等の更生の場として、更生保護施設の役割は、重要なものになっている。当施設では、2025年度は薬物依存傾向が低い6人(一部執行猶予4人)を受け入れた。特にトラブル等は無く3人は退所し、後の3人は就労中である。

3. この施設に対する施設利用者等、関係者の声をご記入ください。

居室が個室となっていて、プライバシーが保たれる。空調やTVも備え付けてあり、快適に通える。

4.この施設に対する施設職員の声をご記入ください。

改築後の施設では、個室16部屋、2人部屋が2部屋あり、入所者のプライバシーの保護に配慮された居室となった。個室の特性に応じた金銭管理、健康管理、就労支援、退所後の住居支援、退所後に必要な福祉機関への調整支援等の業務も積極的に行っている。また、更生保護女性会による給食奉仕活動も再開された。退所者のためのフォロースペースも提供されており、孤立防止や再犯防止をになっている。地域交流室も地域の方々に開放し自治会や保護司会、更生保護女性会の会議等に活用されている。

5. この施設について客観的な立場から論評できる人(法人の監事、行政の福祉担当者、大学の先生などの有識者等)のコメントを自由に記入ください(できるだけ2名以上の論評者及びコメントを記載してください)。

貴施設は、永きにわたって、「報恩以徳」の由来をモットーとした家族のような関わりを通じて、帰るべき場所がない多くの矯正施設出所者等の社会復帰を支援し、再犯防止に多大なる成果を挙げてこられました。これまでも地域の自治会の会合等に会議室を提供していただき、地域社会との融和を大切にされてこられました。今回新たに設けられた地域交流室はこれまで同様、地域の皆さんに開放し、あるいは災害時の一時避難場所として活用できること、また、貴施設の敷地内に自治会の倉庫を設置させていただくなど、地域住民のための反力もいただいただき大変喜ばしく思っております。(自治会顧問)

当該施設は、これまでも入所者のみならず退所された人の社会的つながり、居場所(サードスペース)として機能してきましたが、施設改築による居室や相談室の環境改善は入所者のプライバシーに關してより配慮できるようになりました。現代的課題である生活困窮者自立支援の対象に更生保護の対象者である本施設の入所者も含まれますので、支援の必要性は益々高まると考えます。また、会議室の地域開放も行われているので、今後、更なる地域住民との交流も検討されることを期待しています。(〇〇大学 人間福祉学部教授)

6. 更生保護施設を取り巻く状況や課題をお聞かせください。

再犯防止の取組を総合的に促進するため、平成28年「再犯の防止等の推進に関する法律」が成立、施行された。社会情勢の変化や高齢化、人間関係の希薄化などを背景に、社会の中で居場所を失い、孤立して生きづらさを抱える人に寄り添い、暮らしやすい社会実現に向けて、更生保護施設の役割に対する期待は、かつてないほどの高まりを見せており、その役割を担うことが求められている。

7. その他、施設に関する特記事項、上記1～6についての補足やJKAに対するご要望等ございましたらご自由にご記入ください。

法人単独での整備が困難な状況であるため、今後も更生保護施設建設に対する補助を続けてほしい。

以上となります。ご協力ありがとうございました。 p2024hyoka@keirin-autorace.or.jp までご連絡ください。

【建築(更生保護施設)】

◆1回目の自己評価の際と同様に、事前計画／自己評価書(3/5)の目標に対し、どれだけ達成できたかを記入してください。
採点欄については、別シートのスコアリングガイドを参照の上、採点してください。

◆(3)達成目標については、1回目の自己評価時から達成状況などに变化があった場合、变化があった後(現在)の状況について記入してください。
達成状況のパーセンテージについては、1回目の自己評価時との比較ではなく、事前計画／自己評価書(3/5)記入の内容と比較して算出してください。

◆事前計画／自己評価書(2/5)の「最終的に目指すこと」に対して、現時点での達成状況を記入してください。

◆今回建築した更生保護施設についての感想など、施設利用者等及び関係者の声を記入してください。

◆今回建築した更生保護施設についての感想など、施設職員の声を記入してください。

◆施設の職員等ではなく、法人の監事や行政の福祉担当者、大学の先生などの有識者等のコメントを記入してください。

◆更生保護施設の現状や課題、また、高齢化社会における福祉との連携等での問題点や課題などを記入してください。
なお、国の施策、それに対する影響等がありましたら併せて記入してください。